

所定疾患施設医療費の算定状況について

介護老人保健施設において、入所者の医療ニーズに適切に対応する観点から、肺炎や尿路感染症などの疾病を発症した場合における施設内での対応について以下のような条件を満たした場合に評価されることとなりました。

当施設では所定疾患施設療養費を適切に算定し、入所者様の健康や安心に繋げていきたいと考えておりますので治療の実施状況をご報告いたします。

■ 算定条件

- ① 所定疾患施設療養費は、肺炎等により治療を必要とする状態となった入所者に対し、治療管理として投薬、検査、注射、処置等が行われた場合に、1回に連続する10日間を限度とし、月1回に限り算定するものであって、1月に連続しない1日を10回算定することは認められないものであること。
- ② 所定疾患施設療養費と緊急時施設療養費は同時に算定することはできないこと。
- ③ 所定疾患施設療養費の対象となる入所者の状態は次の通りであること。
イ 肺炎 ロ 尿路感染症 ハ 带状疱疹 ニ 蜂窩織炎 ホ 慢性心不全の増悪
- ④ 肺炎及び尿路感染症については、検査を実施した場合のみ算定できるものであること。
- ⑤ 算定する場合にあっては、診断名、診断を行なった日、実施した投薬、検査、注射、置の内容等を診療録に記載しておくこと。なお、近隣の医療機関と連携した場合であっても、同様に、医療機関で行われた検査、処置用の実施内容について情報提供を受け、当該内容を診療録に記載しておくこと。また、抗菌薬の使用に当たっては、薬剤耐性菌にも配慮するとともに、肺炎、尿路感染症及び、带状疱疹の検査・診断・治療に関するガイドライン等を参考にすること。
- ⑥ 当該加算の算定開始後は、治療の実施状況について公表することとする。公表に当たっては、介護サービス情報の公表制度を活用する等により、前年度の当該加算の算定状況を報告すること。
- ⑦ 当該介護保険施設サービスを行う介護老人保健施設の医師が感染症対策に関する内容（肺炎、尿路感染症、带状疱疹及び蜂窩織炎に関する標準的な検査・診断・治療等及び抗菌薬等の適正使用、薬剤耐性菌）を含む研修を受講していること。ただし、感染症対策に関する十分な経験を有する医師については、感染症対策に関する研修を受講した者とみなす。

令和 7 年度 所定疾患施設療養費の算定状況

厚生労働省の規定に基づき、下記のとおり所定疾患施設療養費の算定状況を公表いたします。

□ 尿路感染症

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	11人	5人	8人	5人	6人	6人	9人	3人	2人	6人	9人	6人
日数	62日	43日	54日	18日	34日	49日	48日	20日	10日	33日	53日	18日

治療方法：抗生剤（経口・点滴）にて治療。吸引処置など必要時、酸素投与を行う

□ 肺炎

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3人	10人	2人	3人	2人	2人	1人	4人	3人	6人	12人	9人
日数	14日	64日	17日	17日	8日	13日	5日	29日	37日	33日	62日	42日

治療方法：抗生剤（経口・点滴）にて治療。吸引処置など必要時、酸素投与を行う

□ 带状疱疹

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数		1人		1人				2人	1人			
日数		8日		8日				14日	2日			

治療方法：抗ウイルス薬の点滴および内服薬、軟膏塗布にて治療

□ 蜂窩織炎

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3人	3人	4人	4人	2人	1人	4人	2人	2人	5人		4人
日数	14日	18日	34日	24日	15日	2日	35日	13日	9日	31日		31日

治療方法：抗生剤内服・点滴の処方にて治療

□ 慢性心不全の増悪

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数												
日数												

治療方法：注射・酸素投与など